

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 13 日現在

機関番号：24402

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23320024

研究課題名(和文)「東アジア共同体」という概念の歴史的変遷と思想的葛藤

研究課題名(英文) Ideological conflict and the historical evolution of the concept of "East Asian Community"

研究代表者

高坂 史朗 (Kohsaka, Shiro)

大阪市立大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号：20170178

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 8,600,000円、(間接経費) 2,580,000円

研究成果の概要(和文)：「東アジア共同体」という議論は“Asia is one”「興亜」「大亜細亜主義」「東亜協同体」「大東亜共栄圏」とさまざまな表現で登場した。日本がそれを持ち出す場合、中国との緊張関係ないしはアメリカへの対応という歴史的要件をもっている。「東アジア」は地域的な概念というよりも政治的・経済的な概念であり、さらにそこには思想的・文化的葛藤が伏在している。「東アジア共同体」の歴史的な成立要件を探り、そこでの思想的葛藤を東アジア間(中国・韓国・台湾)との対話によって明らかにした。

研究成果の概要(英文)：Discussion of "East Asian Community" has appeared in a variety of expression "Asia is one" "Koa", "large Asian principle" "Toa cooperative" and "Greater East Asia Co-Prosperity Sphere". If Japan bring it, I have a historical requirement of dealing with the United States or to strained relations with China. It is a political and economic concept rather than a regional concept "East Asia", is ideological and cultural conflict is concealed is there further. Explore the establishment requirements historic "East Asian Community", was revealed by interaction with (China, Korea, Taiwan) East Asia between the ideological conflict there.

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・思想史

キーワード：東アジア 近代 中国 韓国 台湾 儒教 啓蒙主義

1. 研究開始当初の背景

「東アジア共同体」という言葉が盛んに喧伝される。アメリカの主導するグローバル化に対抗して、EU圏が自らを圏域として展開していこうとする。それに対して「東アジア」を自立的経済圏としてどのように描いていこうとするか、という韓国・日本の政治的・経済的動きなのである。これは日本がアジア世界の中で主体的にどういう役割を担うかという問いのように見えて、ここには歴史的に繰り返される日本と中国との間の葛藤現象とさらに大国と強国の狭間にキャスティング・ボートを握ろうとする韓国の思惑がある。

本研究は日本の「東アジア」概念の歴史的背景を浮き彫りにするとともに、それぞれの思想的葛藤を明らかにし、政治的・経済的問題のみならず思想的・文化的問題として考察を行う。しかも重要な点は中国・韓国(朝鮮)・台湾の研究協力者とともに、対話的に議論を進めてゆくことである。

2. 研究の目的

「東アジア共同体」の歴史的な成立要件を探り、そこでの思想的葛藤を東アジア間の対話によって明らかにする。とくに問題点を浮き彫りにするために日本・中国・韓国・台湾の研究者との対話的議論をはかることである。そして東アジアの相互の理解による平和と安定に寄与したい。

3. 研究の方法

視点の異なる議論を多元的に展開する。したがって、日本国内での研究活動の実施とともに、「東アジア」という問題を、中国の観点、韓国の視点、台湾の立場で議論する。個別的テーマとしては「近代」「儒教」「哲学」「帝国主義」といったテーマを議論の俎上におく。その際、研究の主体の軸足をそれぞれに動かしてゆくことが肝要である。そのため各年度にそれぞれの国でシンポジウムを行

う。

4. 研究成果

「東アジア研究会」を実施した。研究課題「東アジア共同体」という概念の歴史的変遷と思想的葛藤の研究実現のために平成23年度は「東アジア研究会」を6回行った。第1回4月25日高坂史朗「東アジアと西洋思想」(大阪市大)第2回7月2日柳生真「19世紀朝鮮の実学者崔漢綺の気学的人間観と世界観」および読書会李光来著「韓国の西洋思想受容史」御茶の水書房(大阪市大・文化交流センター)第3回9月30日李曉東「近代中国の立憲政治観の性格」読書会譚嗣同の「仁と学」他(市大・文交センター)第4回11月5日西周シンポジウム「西周という“宝”」(津和野町・森鷗外記念館)第5回12月14日講演会「東北アジアの歴史地図から見る」講師：金裕哲・延世大学校教授(大阪市立大学アジア都市文化学)第6回2月10日呉光輝「中国の知識人の東アジアという概念」(市大・文交センター)。また「東アジア」に関する調査研究のために高坂史朗は韓国、中国・北京、台湾、オーストリア・ルーマニアに、野崎充彦は中国・北京、韓国に李曉東は中国・北京に海外出張を行い当地の研究者と研究交流を行った。

平成24年度は「東アジア研究会」を5回実施した。第1回平成24年7月13日高坂史朗「東アジアの文化の相互作用」および上海シンポジウムの準備会、第2回平成25年3月3日李曉東「転形期における中国と日本」、第3回平成25年3月14日シュテファン・マテューシェック教授(イエナ大学)「東アジアと啓蒙主義」および平成25年度の秋のシンポジウムの準備会・討議第4回平成25年3月15日カースティン・ケンクリーズ教授(イエナ大学)「近代化によって失われたもの」およびシンポジウムに関する討議、第5回平成25年3月16日今西謙治(イエナ大学)「ヘルダーと和辻哲郎」その他に高坂史朗は中国、

ドイツに講演・調査研究、野崎充彦は韓国、台湾に調査研究・講演、李曉東は中国に講演・調査研究、鈴木伸太郎はドイツに調査研究に赴いている。なお、平成24年11月に予定していた上海外国語大学との共催行事「東アジアの文化の相互作用」国際シンポジウムは日中間の急激な政治情勢の緊迫化で延期せざるを得ず、それに関連した諸研究活動（常州外大・厦門大学）も同年度は実施できなかった。

平成25年度の活動は8月28日東アジア研究会(東京)とドイツ・イエナ大学啓蒙主義研究所との共催で「ヨーロッパと東アジアにおける近代化の概念の再考」シンポジウム *Eine Neudefinition des Begriffs „Modernisierung“ in Europa und Ostasien* (ドイツ・イエナ大学10月29日)に集約される。日本での研究会では高坂史朗「東アジアと啓蒙主義 その理性主義の光と影」、李曉東「近代中国の『自由主義』」、川島一穂「天心岡倉覚三の西洋像」、野崎充彦「朝鮮壇君神話について」、鈴木伸太郎「コミュニケーション理論の再検討」が研究報告を行い、さらに高坂純子「日本文学における啓蒙主義とロマン主義の受容」、今西謙治「和辻哲郎とヘルダー」が招待研究として加わった。ドイツでのシンポジウムでは上記メンバーがドイツ語あるいは英語で研究報告を行い、ドイツ側から、カースティン・ケンクリーズ教授(イエナ大学)、ヴォルフガング・ザイフェルト教授(ハイデルベルク大学)の発表に加えシュテファン・マテューシェック教授(イエナ大学)が加わった。その他に高坂史朗は中国、ドイツに講演・調査研究、野崎充彦は韓国、台湾に調査研究・講演、李曉東は中国に講演・調査研究、鈴木伸太郎はドイツに調査研究を行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 9件)

川島一穂、岡倉覚三『日本の覚醒』と新渡戸稲造『武士道』とその時代的背景、大阪芸術大学短期大学部紀要、査読無、37号、2013、89-100

李曉東、公共性から考える中国の「社区」の「自治」、総合政策論叢、査読有、23号、2012、123-138

李曉東、中国対日外交的課題、(中国の対日外交の課題)、外交観察、査読無、1巻、2012、149-166

李曉東、寛克彦と近代中国立憲構想的展開(寛克彦と近代中国立憲構想的展開)、憲政輿行政法政治評論、査読有、6巻、2012、356-374

野崎充彦、15世紀朝鮮における宗教文化、近代東亜城市社会群体与社会網、査読無、2012、1-13

野崎充彦、仲井健治先生の研究活動の再照明 白湖林悌を中心に、白湖林悌の生と文学、査読無、2012、14-23

野崎充彦、『桓檀古記』注解にみる朝鮮ナショナリズム理解の齟齬「古史古伝」と「偽書」の謎を読む 査読無、2012、252-258

李曉東、「改良派」梁啓超の「革命」、中国 社会と文化、査読有、26号、2011、158-176

野崎充彦、朝鮮のセルフイメージを求めて、説話文学研究、査読無、46号、2011、4-14

〔学会発表〕(計 13件)

KOHSAKA, Shiro „Aufklärung in Ostasien - Licht und Schatten des Rationalismus“ イエナ大学啓蒙主義研究所主催シンポジウム 2013年10月29日 *Eine Neudefinition des Begriffs „Modernisierung“ in Europa und Ostasien*, ドイツ・イエナ大学

LI, Xiaodong „Liberalismus im modernen China - Yán Fùs „Uminterpretation“ des Freiheitsbegriffs bei John Stuart Mill und John R. Seeley“ イ

エナ大学啓蒙主義研究所主催シンポジウム
2013年10月29日 Eine Neudefinition des
Begriffs „Modernisierung“ in Europa und
Ostasien、ドイツ・イエナ大学

KAWASHIMA, Kazuho „Okakura
Tenshins Vorstellung vom Okzident“
“イエナ大学啓蒙主義研究所主催シンポジウム
2013年10月29日 Eine Neudefinition des
Begriffs „Modernisierung“ in Europa und
Ostasien、ドイツ・イエナ大学

SUZUKI, Shintaro „Eine Reevaluation
der Kommunikationstheorie“
“イエナ大学啓蒙主義研究所主催シンポジウム
2013年10月29日 Eine Neudefinition des
Begriffs „Modernisierung“ in Europa und
Ostasien、ドイツ・イエナ大学

野崎充彦、15世紀朝鮮における<儒>の
位相、大阪市大頭脳循環シンポジウム
2013年12月6日

高坂史朗、東アジアと哲学、中華日本
哲学会(招待講演)平成24年9月14日、
中国・北京外大

李曉東、近代中国の『国会』に対す
る理解と受容、Translating the West,
Past and Present: Japan, China and
Korea (日・中・韓における西欧思想“翻
訳”の問題:政治・経済・倫理から)(招
待講演)平成24年6月17日、横浜国立大
学

李曉東、北東アジアにおける日中関係と
中国外交、日中韓国際シンポジウム「ポ
スト金融危機における北東アジア地域
の発展と協力」(招待講演)平成24年9
月25日、中国山東省社会科学院主催・天
津

野崎充彦、15世紀朝鮮における宗教文化、
近代東亜城市社会群体与社会網、平成24年
7月24日台湾・中央研究院

野崎充彦、仲井健治先生の研究活動の再
照明 白湖林悌を中心に、白湖林悌の生と文

学(招待講演)平成24年11月30日、韓国・
全南大学

高坂史朗、東アジアの文化概念、中華日
本哲学会(招待講演)平成23年9月15日、
中国天津・南開大学

高坂史朗、東アジアとキリスト教、ルー
マニア・アメリカ大学(招待講演)平成24
年3月15日、ルーマニア・ブカレスト

李曉東、近代中国立憲政治観の性格、
第10回日本・韓国政治思想学会国際
学術会議「東アジアの歴史と思想」、
2011年9月24日、東京・成蹊大学

〔図書〕(計 7件)

高坂史朗他、風媒社、日本文化の明と暗
(11 啓蒙主義の光と陰 223-239)、2014、265

鈴木伸太郎他、風媒社、日本文化の明と
暗(6 エリート主義否定の社会 111-139)、2014、
265

野崎充彦他、風響社、術の思想(風水マ
スターを通じてみる韓国風水の特質 297 -
324)、2013、341

高坂史朗他、風媒社、否定と肯定の文脈
(西田幾多郎「日本文化の問題」をめぐって
262-279) 2013、292

鈴木伸太郎他、風媒社、否定と肯定の文
脈(モチベーションの源泉としての自己否定
128-156) 2013、292

李曉東他、国際書院、転形期における中
国と日本 その苦悩と展望、2012、319

鈴木伸太郎、風媒社、危機における共同
性(共同体形成力 55-77) 2012、252

〔その他〕

ホームページ等

<http://www.lit.osaka-cu.ac.jp/asia>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高坂 史朗 (KOHSAKA, Shiro)

大阪市立大学・大学院文学研究科・教授

研究者番号: 20170178

(2)研究分担者

野崎 允彦 (NOZAKI, Mitsuhiko)
大阪市立大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：50244629

李 曉東 (LI, Xiaodong)
島根県立大学・総合政策学部・教授
研究者番号：10405475

川島 一穂 (KAWASHIMA, Kazuho)
大阪芸術大学・短期大学部・教授
研究者番号：30310717

鈴木 伸太郎 (SUZUKI, Shintaro)
近畿大学・総合社会学部・教授
研究者番号：40247953